

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-

日本円・コース (毎月分配型)
豪ドル・コース (毎月分配型)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
米ドル・コース (毎月分配型)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型)	2011年9月22日～2026年9月7日
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	2013年5月31日～2026年9月7日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第138期 (決算日 2023年4月7日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第139期 (決算日 2023年5月8日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第140期 (決算日 2023年6月7日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第141期 (決算日 2023年7月7日)
	第142期 (決算日 2023年8月7日)
	第143期 (決算日 2023年9月7日)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)	第118期 (決算日 2023年4月7日)
	第119期 (決算日 2023年5月8日)
	第120期 (決算日 2023年6月7日)
	第121期 (決算日 2023年7月7日)
	第122期 (決算日 2023年8月7日)
	第123期 (決算日 2023年9月7日)

(作成対象期間 2023年3月8日～2023年9月7日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3834>
<3835>
<3836>
<3837>
<5763>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
114期末 (2021年 4月 7日)	6,403	35	6.2	40,038	6.1	—	99.6	355
115期末 (2021年 5月 7日)	6,506	35	2.2	41,318	3.2	—	98.6	351
116期末 (2021年 6月 7日)	6,491	35	0.3	41,643	0.8	—	98.5	346
117期末 (2021年 7月 7日)	6,503	35	0.7	42,793	2.8	—	99.0	347
118期末 (2021年 8月 10日)	6,563	35	1.5	43,700	2.1	—	98.0	345
119期末 (2021年 9月 7日)	6,654	35	1.9	44,758	2.4	—	99.0	349
120期末 (2021年 10月 7日)	6,281	35	△ 5.1	43,093	△ 3.7	—	98.1	322
121期末 (2021年 11月 8日)	6,467	35	3.5	46,421	7.7	—	98.6	332
122期末 (2021年 12月 7日)	6,380	35	△ 0.8	45,423	△ 2.2	—	99.2	328
123期末 (2022年 1月 7日)	6,735	35	6.1	46,490	2.3	—	99.5	347
124期末 (2022年 2月 7日)	6,556	35	△ 2.1	44,582	△ 4.1	—	97.4	339
125期末 (2022年 3月 7日)	6,580	35	0.9	42,926	△ 3.7	—	99.4	339
126期末 (2022年 4月 7日)	6,773	35	3.5	44,474	3.6	—	98.4	334
127期末 (2022年 5月 9日)	6,592	35	△ 2.2	40,950	△ 7.9	—	99.1	323
128期末 (2022年 6月 7日)	6,589	35	0.5	40,984	0.1	—	96.6	323
129期末 (2022年 7月 7日)	5,766	35	△ 12.0	38,272	△ 6.6	—	99.0	281
130期末 (2022年 8月 8日)	6,135	35	7.0	41,289	7.9	—	99.1	300
131期末 (2022年 9月 7日)	5,911	35	△ 3.1	38,977	△ 5.6	—	97.4	288
132期末 (2022年 10月 7日)	5,923	35	0.8	37,386	△ 4.1	—	97.6	286
133期末 (2022年 11月 7日)	6,078	35	3.2	37,671	0.8	—	99.3	294
134期末 (2022年 12月 7日)	6,293	35	4.1	39,430	4.7	—	97.4	303
135期末 (2023年 1月 10日)	6,386	35	2.0	38,982	△ 1.1	—	99.0	308
136期末 (2023年 2月 7日)	6,539	35	2.9	41,196	5.7	—	99.5	316
137期末 (2023年 3月 7日)	6,462	35	△ 0.6	40,623	△ 1.4	—	99.2	311
138期末 (2023年 4月 7日)	6,178	35	△ 3.9	41,240	1.5	—	99.8	297
139期末 (2023年 5月 8日)	6,067	35	△ 1.2	41,574	0.8	—	97.9	291
140期末 (2023年 6月 7日)	6,050	35	0.3	43,117	3.7	—	99.1	292
141期末 (2023年 7月 7日)	6,110	35	1.6	44,441	3.1	—	99.2	297
142期末 (2023年 8月 7日)	6,395	35	5.2	45,137	1.6	—	99.1	306
143期末 (2023年 9月 7日)	6,295	35	△ 1.0	45,067	△ 0.2	—	99.7	301

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

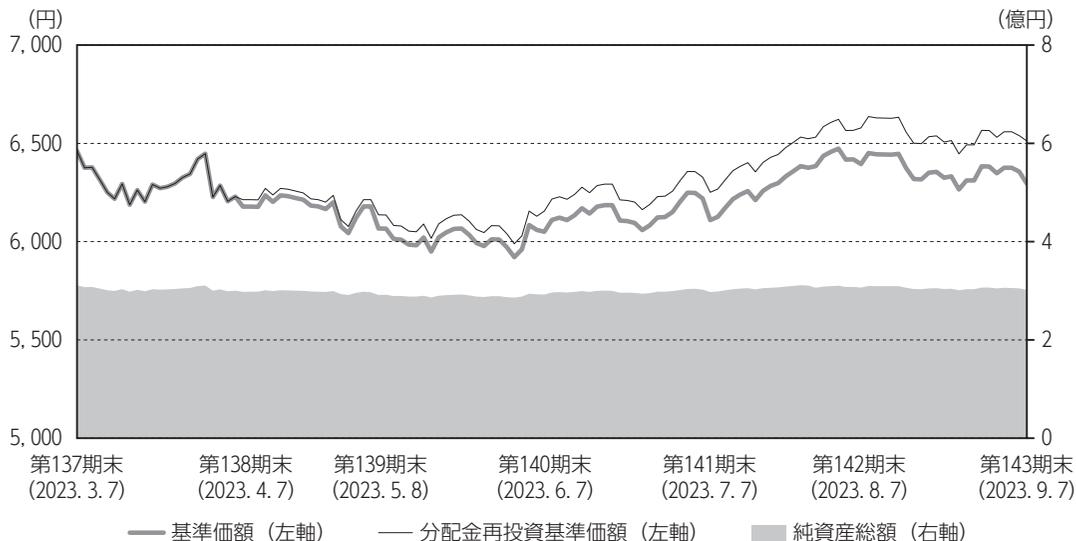
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数を「S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)」から「S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第138期首：6,462円

第143期末：6,295円 (既払分配金210円)

騰落率：0.8% (分配金再投資ベース)

基準価額の変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」については、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となりました。また、オプション取引戦略もプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)：オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	騰 落 率 %	騰 落 率 %		
第138期	(期首) 2023年 3月 7日	6,462	—	40,623	—	—	99.2
	3月末	6,448	△ 0.2	40,682	0.1	—	99.2
	(期末) 2023年 4月 7日	6,213	△ 3.9	41,240	1.5	—	99.8
第139期	(期首) 2023年 4月 7日	6,178	—	41,240	—	—	99.8
	4月末	6,121	△ 0.9	41,557	0.8	—	96.9
	(期末) 2023年 5月 8日	6,102	△ 1.2	41,574	0.8	—	97.9
第140期	(期首) 2023年 5月 8日	6,067	—	41,574	—	—	97.9
	5月末	5,972	△ 1.6	42,314	1.8	—	98.0
	(期末) 2023年 6月 7日	6,085	0.3	43,117	3.7	—	99.1
第141期	(期首) 2023年 6月 7日	6,050	—	43,117	—	—	99.1
	6月末	6,151	1.7	44,279	2.7	—	98.6
	(期末) 2023年 7月 7日	6,145	1.6	44,441	3.1	—	99.2
第142期	(期首) 2023年 7月 7日	6,110	—	44,441	—	—	99.2
	7月末	6,436	5.3	46,182	3.9	—	97.5
	(期末) 2023年 8月 7日	6,430	5.2	45,137	1.6	—	99.1
第143期	(期首) 2023年 8月 7日	6,395	—	45,137	—	—	99.1
	8月末	6,382	△ 0.2	45,555	0.9	—	99.0
	(期末) 2023年 9月 7日	6,330	△ 1.0	45,067	△ 0.2	—	99.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 3. 8 ~ 2023. 9. 7)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。2023年4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやF R B高官発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感されて反発し、当作成期末を迎えました。

■短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の枠組みは継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるF Fレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が5.25～5.50%に引き上げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 3. 8 ~ 2023. 9. 7)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

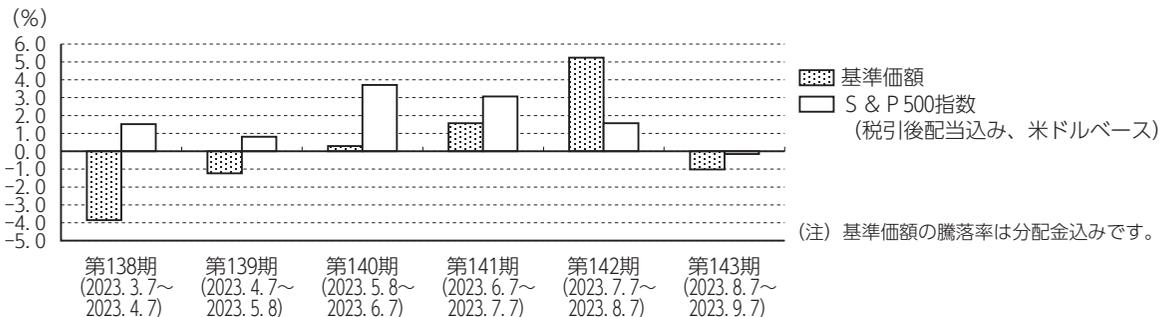
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2023年3月8日 ～2023年4月7日	2023年4月8日 ～2023年5月8日	2023年5月9日 ～2023年6月7日	2023年6月8日 ～2023年7月7日	2023年7月8日 ～2023年8月7日	2023年8月8日 ～2023年9月7日
当期分配金(税込み) (円)	35	35	35	35	35	35
対基準価額比率 (%)	0.56	0.57	0.58	0.57	0.54	0.55
当期の収益 (円)	31	18	22	28	20	21
当期の収益以外 (円)	3	16	12	6	14	13
翌期繰越分配対象額 (円)	580	563	551	545	530	517

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 31.09円	✓ 18.61円	✓ 22.07円	✓ 28.94円	✓ 20.88円	✓ 21.39円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	239.12	239.75	242.52	245.13	245.97	246.58
(d) 分配準備積立金	✓ 344.98	✓ 340.46	✓ 321.44	✓ 306.01	✓ 299.12	✓ 284.39
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	615.20	598.82	586.05	580.10	565.98	552.38
(f) 分配金	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	580.20	563.82	551.05	545.10	530.98	517.38

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第138期～第143期 (2023. 3. 8～2023. 9. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0.676%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,218円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.442)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	42	0.680	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

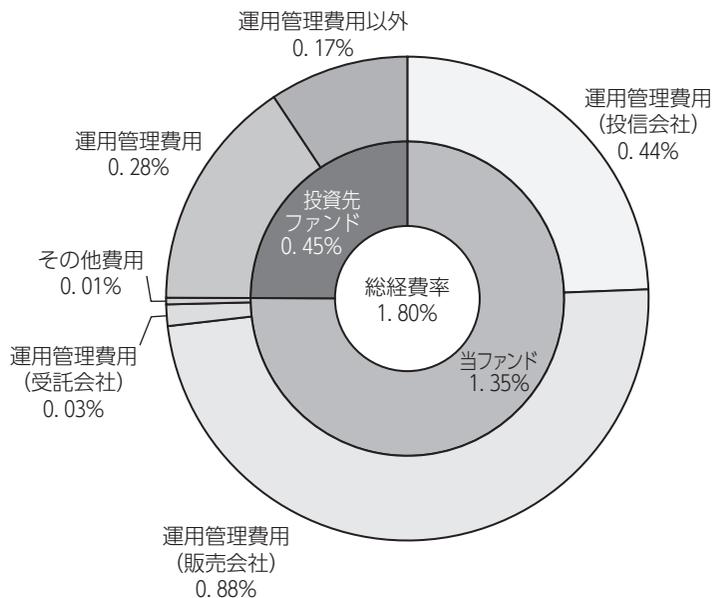
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.80%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.28%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

決算期	第 138 期 ～ 第 143 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 196.95768	千円 14,665	千口 244.81719	千円 18,300

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

第 138 期 ～ 第 143 期								
銘 柄	買 付			売 付			平均単価	平均単価
	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額		
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 84.62504	千円 6,300	円 74	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 244.81719	千円 18,300	円 74	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 143 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	千口 3,934.9135	千円 300,942	% 99.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第137期末	第 143 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 132	千口 132	千円 134

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年9月7日現在

項 目	第 143 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 300,942	% 99.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	134	0.0
コール・ローン等、その他	2,980	1.0
投資信託財産総額	304,057	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月7日)、(2023年5月8日)、(2023年6月7日)、(2023年7月7日)、(2023年8月7日)、(2023年9月7日)現在

項目	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末
(A) 資産	299,867,262円	294,885,262円	294,519,459円	299,234,709円	308,521,610円	304,057,430円
コール・ローン等	2,681,251	9,242,055	4,516,834	4,256,763	4,683,289	2,980,352
投資信託受益証券 (評価額)	297,007,422	285,464,618	289,867,718	294,843,039	303,703,427	300,942,184
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	134,920	134,920	134,907	134,907	134,894	134,894
その他未収収益	43,669	43,669	—	—	—	—
(B) 負債	2,166,364	3,262,117	2,061,564	2,046,828	2,036,396	2,070,103
未払収益分配金	1,686,486	1,682,427	1,692,039	1,702,355	1,677,480	1,679,060
未払解約金	131,106	1,235,530	43,765	7,041	—	29,985
未払信託報酬	346,661	339,984	319,646	329,319	348,686	348,712
その他未払費用	2,111	4,176	6,114	8,113	10,230	12,346
(C) 純資産総額 (A - B)	297,700,898	291,623,145	292,457,895	297,187,881	306,485,214	301,987,327
元本	481,853,399	480,693,592	483,439,870	486,387,147	479,280,205	479,731,609
次期繰越損益金	△ 184,152,501	△ 189,070,447	△ 190,981,975	△ 189,199,266	△ 172,794,991	△ 177,744,282
(D) 受益権総口数	481,853,399口	480,693,592口	483,439,870口	486,387,147口	479,280,205口	479,731,609口
1万口当り基準価額 (C/D)	6,178円	6,067円	6,050円	6,110円	6,395円	6,295円

* 当作成期首における元本額は481,502,325円、当作成期間 (第138期～第143期) 中における追加設定元本額は12,070,704円、同解約元本額は13,841,420円です。

* 第143期末の計算口数当りの純資産額は6,295円です。

* 第143期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は177,744,282円です。

■損益の状況

第138期 自2023年3月8日 至2023年4月7日 第140期 自2023年5月9日 至2023年6月7日 第142期 自2023年7月8日 至2023年8月7日
 第139期 自2023年4月8日 至2023年5月8日 第141期 自2023年6月8日 至2023年7月7日 第143期 自2023年8月8日 至2023年9月7日

項目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(A) 配当等収益	1,847,154円	1,236,729円	1,389,004円	1,508,434円	1,023,745円	1,377,377円
受取配当金	1,803,520	1,236,862	1,389,268	1,508,624	1,023,905	1,377,520
その他収益金	43,653	—	—	—	—	—
支払利息	△ 19	△ 133	△ 264	△ 190	△ 160	△ 143
(B) 有価証券売買損益	△ 13,466,136	△ 4,573,313	△ 178,238	3,460,256	14,641,456	△ 4,134,676
売買益	9,639	6,140	7,393	3,464,973	14,821,703	3,665
売買損	△ 13,475,775	△ 4,579,453	△ 185,631	△ 4,717	△ 180,247	△ 4,138,341
(C) 信託報酬等	△ 348,772	△ 342,049	△ 321,584	△ 331,318	△ 350,803	△ 350,828
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 11,967,754	△ 3,678,633	889,182	4,637,372	15,314,398	△ 3,108,127
(E) 前期繰越損益金	△ 52,084,811	△ 65,461,831	△ 70,650,974	△ 71,303,908	△ 67,182,999	△ 53,481,638
(F) 追加信託差損益金	△ 118,413,450	△ 118,247,556	△ 119,528,144	△ 120,830,375	△ 119,248,910	△ 119,475,457
(配当等相当額)	(11,522,439)	(11,524,638)	(11,724,475)	(11,923,260)	(11,789,016)	(11,829,622)
(売買損益相当額)	(△ 129,935,889)	(△ 129,772,194)	(△ 131,252,619)	(△ 132,753,635)	(△ 131,037,926)	(△ 131,305,079)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 182,466,015	△ 187,388,020	△ 189,289,936	△ 187,496,911	△ 171,117,511	△ 176,065,222
(H) 収益分配金	△ 1,686,486	△ 1,682,427	△ 1,692,039	△ 1,702,355	△ 1,677,480	△ 1,679,060
次期繰越損益金 (G + H)	△ 184,152,501	△ 189,070,447	△ 190,981,975	△ 189,199,266	△ 172,794,991	△ 177,744,282
追加信託差損益金	△ 118,413,450	△ 118,247,556	△ 119,528,144	△ 120,830,375	△ 119,248,910	△ 119,475,457
(配当等相当額)	(11,522,439)	(11,524,638)	(11,724,475)	(11,923,260)	(11,789,016)	(11,829,622)
(売買損益相当額)	(△ 129,935,889)	(△ 129,772,194)	(△ 131,252,619)	(△ 132,753,635)	(△ 131,037,926)	(△ 131,305,079)
分配準備積立金	16,435,032	15,577,976	14,915,541	14,589,733	13,659,987	12,991,034
繰越損益金	△ 82,174,083	△ 86,400,867	△ 86,369,372	△ 82,958,624	△ 67,206,068	△ 71,259,859

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,498,382円	894,678円	1,067,418円	1,407,842円	1,000,800円	1,026,546円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	11,522,439	11,524,638	11,724,475	11,923,260	11,789,016	11,829,622
(d) 分配準備積立金	16,623,136	16,365,725	15,540,162	14,884,246	14,336,667	13,643,548
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	29,643,957	28,785,041	28,332,055	28,215,348	27,126,483	26,499,716
(f) 分配金	1,686,486	1,682,427	1,692,039	1,702,355	1,677,480	1,679,060
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	27,957,471	27,102,614	26,640,016	26,512,993	25,449,003	24,820,656
(h) 受益権総口数	481,853,399口	480,693,592口	483,439,870口	486,387,147口	479,280,205口	479,731,609口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
		35円	35円	35円	35円	35円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
114期末 (2021年 4月 7日)	4,115	20	6.7	40,038	6.1	84.17	0.7	—	98.0	1,220
115期末 (2021年 5月 7日)	4,206	20	2.7	41,318	3.2	84.90	0.9	—	98.8	1,220
116期末 (2021年 6月 7日)	4,193	20	0.2	41,643	0.8	84.77	△ 0.2	—	98.1	1,186
117期末 (2021年 7月 7日)	4,109	20	△ 1.5	42,793	2.8	82.73	△ 2.4	—	99.7	1,122
118期末 (2021年 8月 10日)	4,055	20	△ 0.8	43,700	2.1	80.93	△ 2.2	—	98.0	1,091
119期末 (2021年 9月 7日)	4,135	20	2.5	44,758	2.4	81.80	1.1	—	98.9	1,088
120期末 (2021年 10月 7日)	3,874	20	△ 5.8	43,093	△ 3.7	81.15	△ 0.8	—	98.8	976
121期末 (2021年 11月 8日)	4,134	20	7.2	46,421	7.7	84.00	3.5	—	99.6	1,018
122期末 (2021年 12月 7日)	3,881	20	△ 5.6	45,423	△ 2.2	79.95	△ 4.8	—	99.6	943
123期末 (2022年 1月 7日)	4,218	20	9.2	46,490	2.3	83.08	3.9	—	98.1	1,006
124期末 (2022年 2月 7日)	4,043	20	△ 3.7	44,582	△ 4.1	81.50	△ 1.9	—	97.8	949
125期末 (2022年 3月 7日)	4,207	20	4.6	42,926	△ 3.7	85.01	4.3	—	99.1	981
126期末 (2022年 4月 7日)	4,709	20	12.4	44,474	3.6	92.82	9.2	—	97.5	1,064
127期末 (2022年 5月 9日)	4,518	20	△ 3.6	40,950	△ 7.9	91.70	△ 1.2	—	98.6	1,003
128期末 (2022年 6月 7日)	4,608	20	2.4	40,984	0.1	94.96	3.6	—	97.6	1,013
129期末 (2022年 7月 7日)	3,922	20	△ 14.5	38,272	△ 6.6	92.19	△ 2.9	—	97.4	845
130期末 (2022年 8月 8日)	4,250	20	8.9	41,289	7.9	93.51	1.4	—	98.0	902
131期末 (2022年 9月 7日)	4,227	20	△ 0.1	38,977	△ 5.6	96.09	2.8	—	97.5	883
132期末 (2022年 10月 7日)	4,110	20	△ 2.3	37,386	△ 4.1	93.02	△ 3.2	—	97.8	850
133期末 (2022年 11月 7日)	4,298	20	5.1	37,671	0.8	94.61	1.7	—	97.5	874
134期末 (2022年 12月 7日)	4,321	20	1.0	39,430	4.7	91.93	△ 2.8	—	98.7	848
135期末 (2023年 1月 10日)	4,354	20	1.2	38,982	△ 1.1	91.10	△ 0.9	—	99.2	843
136期末 (2023年 2月 7日)	4,501	20	3.8	41,196	5.7	91.39	0.3	—	97.5	869
137期末 (2023年 3月 7日)	4,484	20	0.1	40,623	△ 1.4	91.64	0.3	—	98.3	863
138期末 (2023年 4月 7日)	4,144	20	△ 7.1	41,240	1.5	87.90	△ 4.1	—	99.0	774
139期末 (2023年 5月 8日)	4,228	20	2.5	41,574	0.8	91.14	3.7	—	99.6	790
140期末 (2023年 6月 7日)	4,335	20	3.0	43,117	3.7	93.21	2.3	—	99.0	785
141期末 (2023年 7月 7日)	4,504	20	4.4	44,441	3.1	95.43	2.4	—	97.9	792
142期末 (2023年 8月 7日)	4,636	20	3.4	45,137	1.6	93.21	△ 2.3	—	98.9	812
143期末 (2023年 9月 7日)	4,626	20	0.2	45,067	△ 0.2	94.31	1.2	—	95.8	787

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

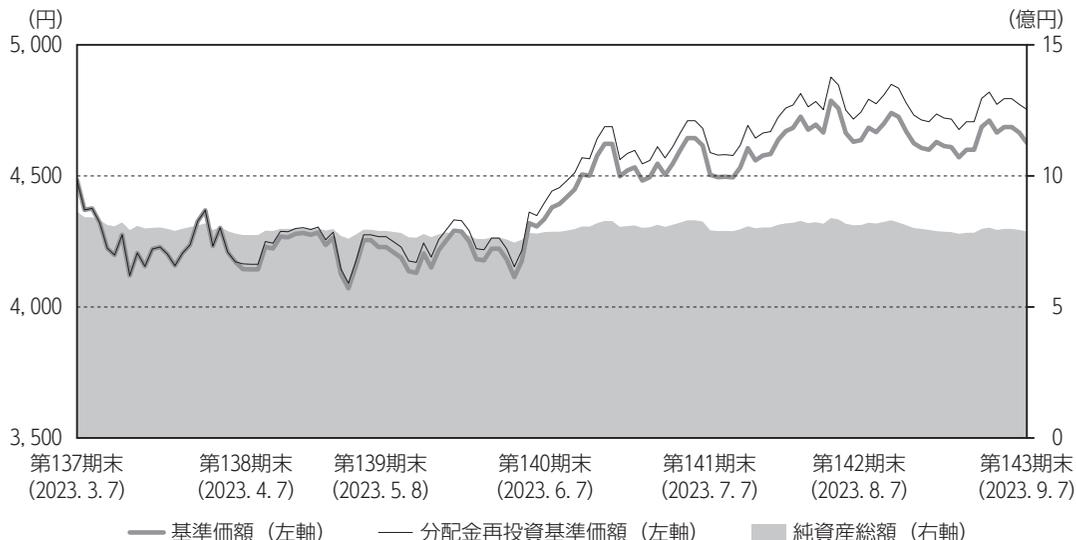
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数の「S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)」を「S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第138期首：4,484円

第143期末：4,626円 (既払分配金120円)

騰落率：6.0% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」については、米国株式市場が上昇したことや豪ドルが対円で上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。また、オプション取引戦略もプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)：オージェンタム・トラスト
クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第138期	(期首) 2023年 3月 7日	4,484	—	40,623	—	91.64	—	—	98.3
	3月末	4,369	△ 2.6	40,682	0.1	89.69	△ 2.1	—	98.5
	(期末) 2023年 4月 7日	4,164	△ 7.1	41,240	1.5	87.90	△ 4.1	—	99.0
第139期	(期首) 2023年 4月 7日	4,144	—	41,240	—	87.90	—	—	99.0
	4月末	4,156	0.3	41,557	0.8	88.98	1.2	—	99.1
	(期末) 2023年 5月 8日	4,248	2.5	41,574	0.8	91.14	3.7	—	99.6
第140期	(期首) 2023年 5月 8日	4,228	—	41,574	—	91.14	—	—	99.6
	5月末	4,181	△ 1.1	42,314	1.8	91.07	△ 0.1	—	98.4
	(期末) 2023年 6月 7日	4,355	3.0	43,117	3.7	93.21	2.3	—	99.0
第141期	(期首) 2023年 6月 7日	4,335	—	43,117	—	93.21	—	—	99.0
	6月末	4,546	4.9	44,279	2.7	95.77	2.7	—	98.3
	(期末) 2023年 7月 7日	4,524	4.4	44,441	3.1	95.43	2.4	—	97.9
第142期	(期首) 2023年 7月 7日	4,504	—	44,441	—	95.43	—	—	97.9
	7月末	4,665	3.6	46,182	3.9	93.96	△ 1.5	—	98.4
	(期末) 2023年 8月 7日	4,656	3.4	45,137	1.6	93.21	△ 2.3	—	98.9
第143期	(期首) 2023年 8月 7日	4,636	—	45,137	—	93.21	—	—	98.9
	8月末	4,711	1.6	45,555	0.9	94.78	1.7	—	99.7
	(期末) 2023年 9月 7日	4,646	0.2	45,067	△ 0.2	94.31	1.2	—	95.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 3. 8 ～ 2023. 9. 7）

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。2023年4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやF R B高官発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感されて反発し、当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から、欧米発の信用不安による投資家のリスク回避の強まりなどを背景に対円で下落（円高）傾向となりました。2023年4月は、投資家のリスク回避姿勢の後退などから円安豪ドル高となる局面もありましたが、月間では対円でおおむね横ばいでの推移となりました。5月から6月にかけては、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引き上げを行い、金利が上昇傾向となったことなどから、対円で上昇しました。7月から当作成期末にかけては、インフレ鈍化などを背景に長期金利の上昇が一服したことなどから、豪ドルは対円で下落傾向となりました。

■ 短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を4.10%に引き上げました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が5.25～5.50%に引き上げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 3. 8 ~ 2023. 9. 7)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

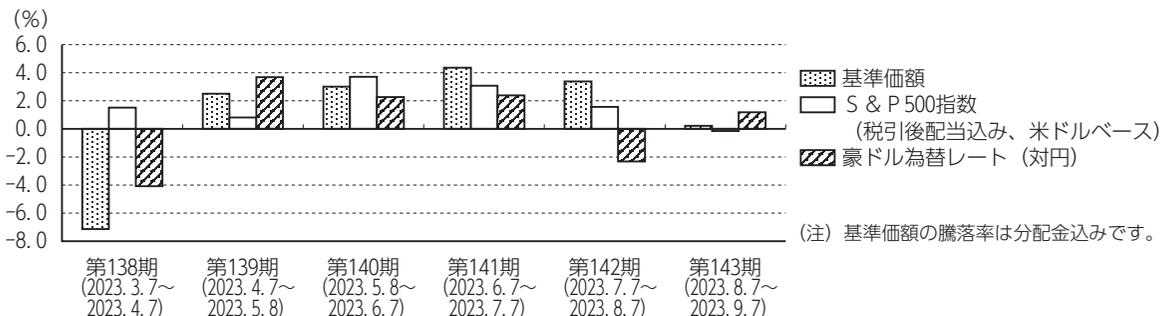
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2023年 3月 8日 ～2023年 4月 7日	2023年 4月 8日 ～2023年 5月 8日	2023年 5月 9日 ～2023年 6月 7日	2023年 6月 8日 ～2023年 7月 7日	2023年 7月 8日 ～2023年 8月 7日	2023年 8月 8日 ～2023年 9月 7日
当期分配金(税込み) (円)	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率 (%)	0.48	0.47	0.46	0.44	0.43	0.43
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	554	564	574	587	600	610

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率は異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 41.17円	✓ 29.95円	✓ 30.28円	✓ 33.39円	✓ 32.42円	✓ 30.37円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	200.67	200.96	201.70	202.29	202.58	202.89
(d) 分配準備積立金	332.33	353.22	362.43	372.13	385.24	397.37
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	574.18	584.13	594.42	607.82	620.25	630.63
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	554.18	564.13	574.42	587.82	600.25	610.63

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第138期～第143期 (2023. 3. 8～2023. 9. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0.675%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,414円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.442)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	30	0.679	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

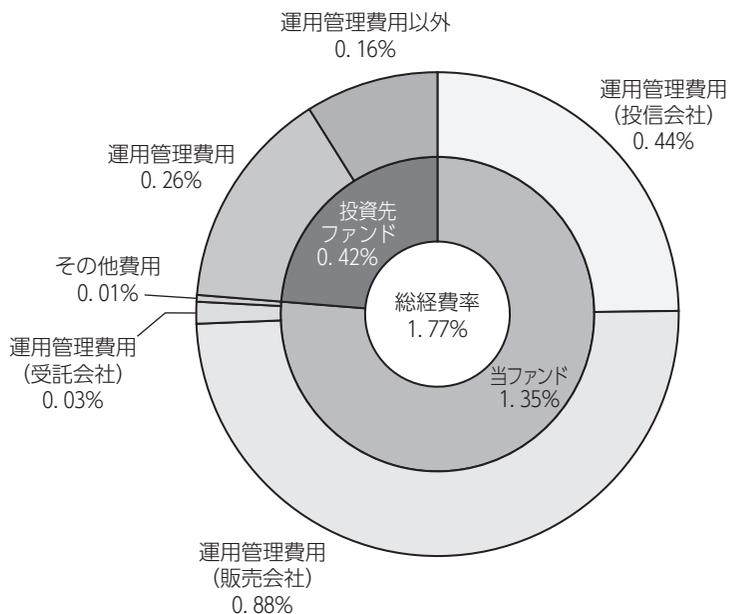
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2023年3月8日から2023年9月7日まで）

決算期	第 138 期 ～ 第 143 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	570.93353	44,521	1,875.57201	148,600

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2023年3月8日から2023年9月7日まで）

第 138 期				～	第 143 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS（ケイマン諸島）	千口	千円	円	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS（ケイマン諸島）	千口	千円	円	
	103.52379	7,800	75		1,875.57201	148,600	79	

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 143 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	9,175.28958	754,805	95.8

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第137期末	第 143 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口	千口	千円
	52	52	53

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年9月7日現在

項 目	第 143 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
	754,805	95.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	53	0.0
コール・ローン等、その他	37,134	4.7
投資信託財産総額	791,993	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月7日)、(2023年5月8日)、(2023年6月7日)、(2023年7月7日)、(2023年8月7日)、(2023年9月7日)現在

項目	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末
(A) 資産	781,247,215円	794,761,577円	789,831,711円	829,981,379円	817,140,927円	808,993,654円
コール・ローン等	12,948,416	5,946,284	12,620,789	14,473,274	13,507,541	20,134,617
投資信託受益証券 (評価額)	766,397,174	786,913,668	777,157,077	775,854,260	803,579,546	754,805,197
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	53,850	53,850	53,845	53,845	53,840	53,840
未収入金	—	—	—	39,600,000	—	34,000,000
その他未収収益	1,847,775	1,847,775	—	—	—	—
(B) 負債	6,875,972	4,648,814	4,586,615	37,795,412	4,457,959	21,445,153
未払金	—	—	—	19,800,000	—	17,000,000
未払収益分配金	3,737,695	3,737,126	3,622,606	3,518,047	3,505,687	3,404,809
未払解約金	2,207,255	—	96,568	13,562,023	—	92,840
未払信託報酬	925,373	900,538	851,094	893,539	924,821	914,470
その他未払費用	5,649	11,150	16,347	21,803	27,451	33,034
(C) 純資産総額 (A - B)	774,371,243	790,112,763	785,245,096	792,185,967	812,682,968	787,548,501
元本	1,868,847,634	1,868,563,159	1,811,303,362	1,759,023,823	1,752,843,502	1,702,404,712
次期繰越損益金	△ 1,094,476,391	△ 1,078,450,396	△ 1,026,058,266	△ 966,837,856	△ 940,160,534	△ 914,856,211
(D) 受益権総口数	1,868,847,634口	1,868,563,159口	1,811,303,362口	1,759,023,823口	1,752,843,502口	1,702,404,712口
1万口当り基準価額 (C/D)	4,144円	4,228円	4,335円	4,504円	4,636円	4,626円

* 当作成期首における元本額は1,926,682,550円、当作成期間 (第138期～第143期) 中における追加設定元本額は12,037,679円、同解約元本額は236,315,517円です。

* 第143期末の計算口数当りの純資産額は4,626円です。

* 第143期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は914,856,211円です。

■損益の状況

第138期 自 2023年3月8日 至 2023年4月7日 第140期 自 2023年5月9日 至 2023年6月7日 第142期 自 2023年7月8日 至 2023年8月7日

第139期 自 2023年4月8日 至 2023年5月8日 第141期 自 2023年6月8日 至 2023年7月7日 第143期 自 2023年8月8日 至 2023年9月7日

項目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(A) 配当等収益	8,625,226円	5,855,761円	5,690,078円	6,033,805円	5,881,577円	6,090,512円
受取配当金	6,782,302	5,855,910	5,690,611	6,034,598	5,882,183	6,090,941
受取利息	1	—	1	—	—	3
その他収益金	1,843,103	—	—	—	—	—
支払利息	△ 180	△ 149	△ 534	△ 793	△ 606	△ 432
(B) 有価証券売買損益	△ 67,582,503	△ 14,642,518	△ 18,136,414	△ 27,972,871	△ 21,831,152	△ 3,516,939
売買益	1,829,520	14,660,467	18,310,582	28,664,480	21,841,319	454,099
売買損	△ 69,412,023	△ 17,949	△ 174,168	△ 691,609	△ 10,167	△ 3,971,038
(C) 信託報酬等	△ 931,022	△ 906,039	△ 856,291	△ 898,995	△ 930,469	△ 920,053
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 59,888,299	△ 19,592,240	△ 22,970,201	△ 33,107,681	△ 26,782,260	△ 1,653,520
(E) 前期繰越損益金	△ 496,805,085	△ 559,898,191	△ 526,300,688	△ 491,543,764	△ 459,996,607	△ 423,832,725
(F) 追加信託差損益金	△ 534,045,312	△ 534,407,319	△ 519,105,173	△ 504,883,726	△ 503,440,500	△ 489,272,197
(配当等相当額)	(37,503,927)	(37,551,303)	(36,534,975)	(35,584,835)	(35,509,432)	(34,540,200)
(売買損益相当額)	(△ 571,549,239)	(△ 571,958,622)	(△ 555,640,148)	(△ 540,468,561)	(△ 538,949,932)	(△ 523,812,397)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,090,738,696	△ 1,074,713,270	△ 1,022,435,660	△ 963,319,809	△ 936,654,847	△ 911,451,402
(H) 収益分配金	△ 3,737,695	△ 3,737,126	△ 3,622,606	△ 3,518,047	△ 3,505,687	△ 3,404,809
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,094,476,391	△ 1,078,450,396	△ 1,026,058,266	△ 966,837,856	△ 940,160,534	△ 914,856,211
追加信託差損益金	△ 534,045,312	△ 534,407,319	△ 519,105,173	△ 504,883,726	△ 503,440,500	△ 489,272,197
(配当等相当額)	(37,503,927)	(37,551,303)	(36,534,975)	(35,584,835)	(35,509,432)	(34,540,200)
(売買損益相当額)	(△ 571,549,239)	(△ 571,958,622)	(△ 555,640,148)	(△ 540,468,561)	(△ 538,949,932)	(△ 523,812,397)
分配準備積立金	66,064,576	67,861,539	67,511,421	67,815,622	69,706,698	69,415,351
繰越損益金	△ 626,495,655	△ 611,904,616	△ 574,464,514	△ 529,769,752	△ 506,426,732	△ 494,999,365

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,694,204円	5,596,906円	5,485,596円	5,874,323円	5,684,131円	5,170,459円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	37,503,927	37,551,303	36,534,975	35,584,835	35,509,432	34,540,200
(d) 分配準備積立金	62,108,067	66,001,759	65,648,431	65,459,346	67,528,254	67,649,701
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	107,306,198	109,149,968	107,669,002	106,918,504	108,721,817	107,360,360
(f) 分配金	3,737,695	3,737,126	3,622,606	3,518,047	3,505,687	3,404,809
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	103,568,503	105,412,842	104,046,396	103,400,457	105,216,130	103,955,551
(h) 受益権総口数	1,868,847,634口	1,868,563,159口	1,811,303,362口	1,759,023,823口	1,752,843,502口	1,702,404,712口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
		20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
114期末 (2021年 4月 7日)	1,626	20	9.0	40,038	6.1	19,6377	3.0	—	94.7	16,094
115期末 (2021年 5月 7日)	1,739	20	8.2	41,318	3.2	20,6658	5.2	—	98.2	16,396
116期末 (2021年 6月 7日)	1,797	20	4.5	41,643	0.8	21,6965	5.0	—	98.3	16,648
117期末 (2021年 7月 7日)	1,766	20	△ 0.6	42,793	2.8	21,2416	△ 2.1	—	98.0	16,134
118期末 (2021年 8月 10日)	1,755	20	0.5	43,700	2.1	21,0762	△ 0.8	—	98.2	15,804
119期末 (2021年 9月 7日)	1,786	20	2.9	44,758	2.4	21,2321	0.7	—	98.6	15,834
120期末 (2021年 10月 7日)	1,607	20	△ 8.9	43,093	△ 3.7	20,2736	△ 4.5	—	99.4	14,057
121期末 (2021年 11月 8日)	1,664	20	4.8	46,421	7.7	20,4947	1.1	—	98.3	14,336
122期末 (2021年 12月 7日)	1,600	20	△ 2.6	45,423	△ 2.2	19,9578	△ 2.6	—	99.5	13,542
123期末 (2022年 1月 7日)	1,710	20	8.1	46,490	2.3	20,3891	2.2	—	99.5	14,141
124期末 (2022年 2月 7日)	1,767	20	4.5	44,582	△ 4.1	21,6350	6.1	—	98.0	14,309
125期末 (2022年 3月 7日)	1,854	20	6.1	42,926	△ 3.7	22,7004	4.9	—	97.6	14,908
126期末 (2022年 4月 7日)	2,178	20	18.6	44,474	3.6	26,2122	15.5	—	98.0	17,231
127期末 (2022年 5月 9日)	2,062	20	△ 4.4	40,950	△ 7.9	25,7450	△ 1.8	—	99.4	15,779
128期末 (2022年 6月 7日)	2,187	20	7.0	40,984	0.1	27,5786	7.1	—	99.2	16,573
129期末 (2022年 7月 7日)	1,718	20	△ 20.5	38,272	△ 6.6	25,0212	△ 9.3	—	99.2	12,842
130期末 (2022年 8月 8日)	1,926	20	13.3	41,289	7.9	26,1994	4.7	—	97.7	14,331
131期末 (2022年 9月 7日)	1,960	20	2.8	38,977	△ 5.6	27,2452	4.0	—	99.5	14,486
132期末 (2022年 10月 7日)	2,025	20	4.3	37,386	△ 4.1	27,7334	1.8	—	99.1	14,845
133期末 (2022年 11月 7日)	2,180	20	8.6	37,671	0.8	29,0454	4.7	—	96.1	15,693
134期末 (2022年 12月 7日)	2,036	20	△ 5.7	39,430	4.7	26,2037	△ 9.8	—	97.6	14,176
135期末 (2023年 1月 10日)	2,010	20	△ 0.3	38,982	△ 1.1	25,0685	△ 4.3	—	99.2	13,914
136期末 (2023年 2月 7日)	2,097	20	5.3	41,196	5.7	25,7320	2.6	—	98.8	14,393
137期末 (2023年 3月 7日)	2,136	20	2.8	40,623	△ 1.4	26,3783	2.5	—	97.8	14,484
138期末 (2023年 4月 7日)	2,041	20	△ 3.5	41,240	1.5	26,0461	△ 1.3	—	97.3	13,636
139期末 (2023年 5月 8日)	2,088	20	3.3	41,574	0.8	27,2817	4.7	—	99.1	13,867
140期末 (2023年 6月 7日)	2,199	20	6.3	43,117	3.7	28,3804	4.0	—	98.6	14,118
141期末 (2023年 7月 7日)	2,307	20	5.8	44,441	3.1	29,2985	3.2	—	98.8	14,587
142期末 (2023年 8月 7日)	2,415	20	5.5	45,137	1.6	29,0567	△ 0.8	—	99.0	15,045
143期末 (2023年 9月 7日)	2,429	20	1.4	45,067	△ 0.2	29,6982	2.2	—	98.4	14,998

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

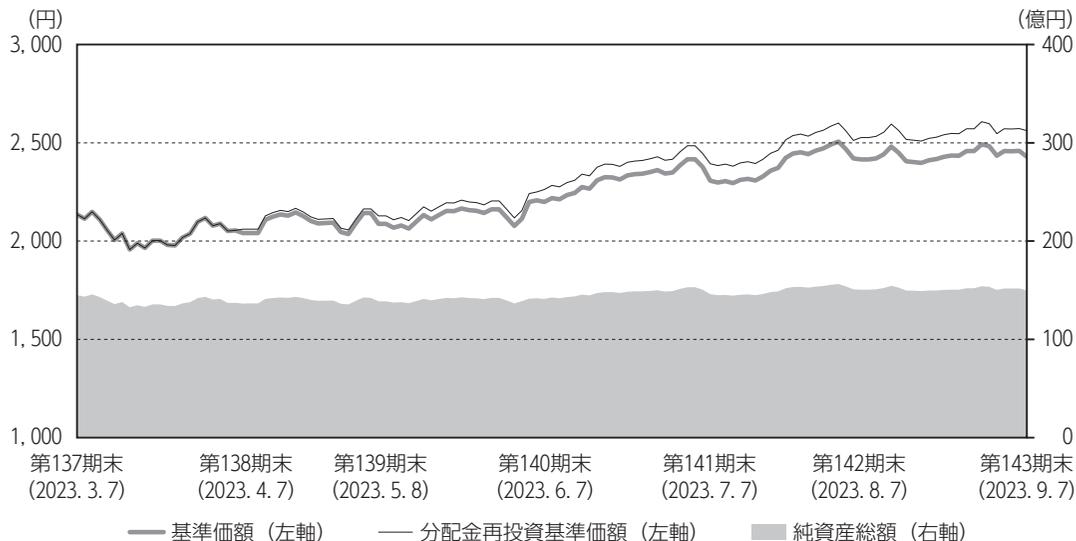
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数の「S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)」を「S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第138期首：2,136円

第143期末：2,429円 (既払分配金120円)

騰落率：20.0% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」については、米国株式市況の上昇やブラジル・リアルが対円で上昇 (円安) したこと、為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) がプラス要因となりました。また、オプション取引戦略もプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)：オージェンタム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第138期	(期首) 2023年 3月 7日	2,136	—	40,623	—	26.3783	—	—	97.8
	3月末	2,118	△ 0.8	40,682	0.1	26.1881	△ 0.7	—	98.1
	(期末) 2023年 4月 7日	2,061	△ 3.5	41,240	1.5	26.0461	△ 1.3	—	97.3
第139期	(期首) 2023年 4月 7日	2,041	—	41,240	—	26.0461	—	—	97.3
	4月末	2,092	2.5	41,557	0.8	26.8611	3.1	—	97.8
	(期末) 2023年 5月 8日	2,108	3.3	41,574	0.8	27.2817	4.7	—	99.1
第140期	(期首) 2023年 5月 8日	2,088	—	41,574	—	27.2817	—	—	99.1
	5月末	2,120	1.5	42,314	1.8	27.7354	1.7	—	97.7
	(期末) 2023年 6月 7日	2,219	6.3	43,117	3.7	28.3804	4.0	—	98.6
第141期	(期首) 2023年 6月 7日	2,199	—	43,117	—	28.3804	—	—	98.6
	6月末	2,349	6.8	44,279	2.7	29.8342	5.1	—	97.6
	(期末) 2023年 7月 7日	2,327	5.8	44,441	3.1	29.2985	3.2	—	98.8
第142期	(期首) 2023年 7月 7日	2,307	—	44,441	—	29.2985	—	—	98.8
	7月末	2,471	7.1	46,182	3.9	29.7838	1.7	—	97.9
	(期末) 2023年 8月 7日	2,435	5.5	45,137	1.6	29.0567	△ 0.8	—	99.0
第143期	(期首) 2023年 8月 7日	2,415	—	45,137	—	29.0567	—	—	99.0
	8月末	2,483	2.8	45,555	0.9	29.8762	2.8	—	97.5
	(期末) 2023年 9月 7日	2,449	1.4	45,067	△ 0.2	29.6982	2.2	—	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 3. 8 ～ 2023. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。2023年4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやF R B高官発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感されて反発し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

ブラジル・レアル対円為替相場は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営不安から安全資産需要が強まる中、下落（円高）しました。2023年3月末には、レアルは米ドル安とブラジルの新財政計画を背景に評価され、持ち直しました。4月から6月にかけては、日銀のハト派金融政策維持の姿勢や1－3月期のブラジルのGDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回ったことが好感されたことなどをを受けて、レアルは上昇しました。7月から当作成期末にかけては、中央銀行の利下げ開始観測などが重しとなり、上値の重い展開となりました。

■短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を13.25%に引き下げました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が5.25～5.50%に引上げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 3. 8 ~ 2023. 9. 7)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行いました。

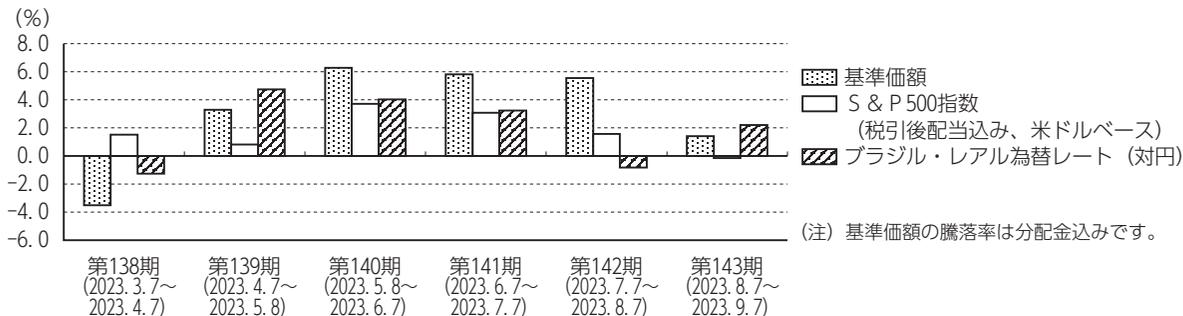
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2023年3月8日 ～2023年4月7日	2023年4月8日 ～2023年5月8日	2023年5月9日 ～2023年6月7日	2023年6月8日 ～2023年7月7日	2023年7月8日 ～2023年8月7日	2023年8月8日 ～2023年9月7日
当期分配金(税込み) (円)	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率 (%)	0.97	0.95	0.90	0.86	0.82	0.82
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,205	1,215	1,224	1,235	1,250	1,261

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率は異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 32.56円	✓ 29.93円	✓ 29.54円	✓ 30.98円	✓ 34.80円	✓ 31.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,027.71	1,028.01	1,028.35	1,028.72	1,029.06	1,029.40
(d) 分配準備積立金	165.20	177.47	187.07	196.25	206.89	221.36
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,225.49	1,235.42	1,244.97	1,255.95	1,270.76	1,281.79
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,205.49	1,215.42	1,224.97	1,235.95	1,250.76	1,261.79

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第138期～第143期 (2023. 3. 8～2023. 9. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	15円	0. 673%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2, 238円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0. 220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0. 441)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	15	0. 676	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

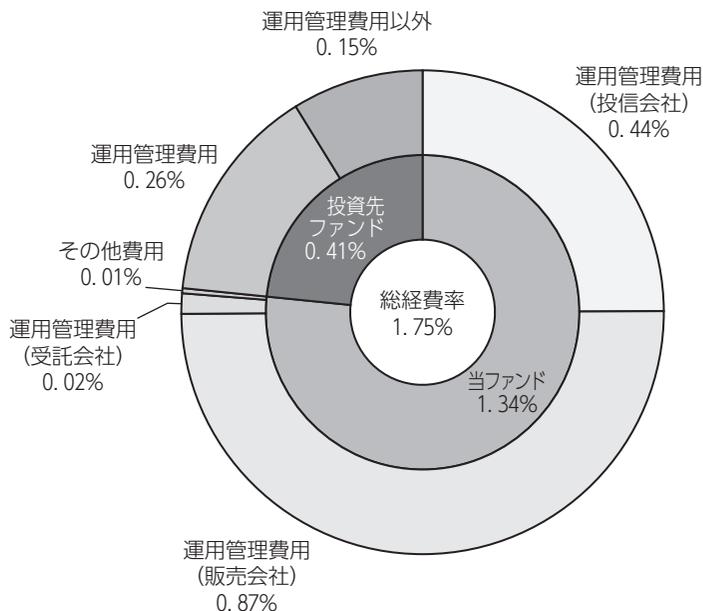
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.75%
①当ファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

決算期	第 138 期 ~ 第 143 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 40,507.76442	千円 1,391,755	千口 64,291.47757	千円 2,243,900

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

第 138 期 ~				第 143 期			
買 付 銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	売 付 銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	3,952.47754	136,400	34	CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	64,291.47757	2,243,900	34

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 143 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	千口 392,661.92426	千円 14,759,769	% 98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第137期末	第 143 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 467	千口 467	千円 474

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年9月7日現在

項 目	第 143 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 14,759,769	% 97.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	474	0.0
コール・ローン等、その他	384,929	2.5
投資信託財産総額	15,145,173	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月7日)、(2023年5月8日)、(2023年6月7日)、(2023年7月7日)、(2023年8月7日)、(2023年9月7日)現在

項 目	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末
(A) 資産	13,942,175,596円	14,047,025,808円	14,719,185,491円	14,764,663,068円	15,206,368,275円	15,145,173,401円
コール・ローン等	654,541,244	291,202,983	794,123,473	349,053,304	316,321,327	384,929,492
投資信託受益証券 (評価額)	13,268,466,089	13,736,654,562	13,924,587,133	14,415,134,879	14,889,572,110	14,759,769,071
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	474,932	474,932	474,885	474,885	474,838	474,838
その他未収収益	18,693,331	18,693,331	—	—	—	—
(B) 負債	305,225,100	179,353,432	600,774,148	177,176,755	160,758,032	146,694,928
未払金	—	—	136,400,000	—	—	—
未払収益分配金	133,633,245	132,800,741	128,413,322	126,456,790	124,584,762	123,476,506
未払解約金	155,704,711	30,366,044	320,200,744	34,064,887	18,627,952	5,374,496
未払信託報酬	15,790,483	15,992,093	15,470,823	16,266,246	17,052,099	17,245,139
その他未払費用	96,661	194,554	289,259	388,832	493,219	598,787
(C) 純資産総額 (A - B)	13,636,950,496	13,867,672,376	14,118,411,343	14,587,486,313	15,045,610,243	14,998,478,473
元本	66,816,622,736	66,400,370,640	64,206,661,438	63,228,395,065	62,292,381,126	61,738,253,471
次期繰越損益金	△ 53,179,672,240	△ 52,532,698,264	△ 50,088,250,095	△ 48,640,908,752	△ 47,246,770,883	△ 46,739,774,998
(D) 受益権総口数	66,816,622,736口	66,400,370,640口	64,206,661,438口	63,228,395,065口	62,292,381,126口	61,738,253,471口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,041円	2,088円	2,199円	2,307円	2,415円	2,429円

* 当作成期首における元本額は67,816,227,857円、当作成期間 (第138期~第143期) 中における追加設定元本額は667,395,818円、同解約元本額は6,745,370,204円です。

* 第143期末の計算口数当りの純資産額は2,429円です。

* 第143期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は46,739,774,998円です。

■損益の状況

第138期 自2023年3月8日 至2023年4月7日 第140期 自2023年5月9日 至2023年6月7日 第142期 自2023年7月8日 至2023年8月7日
 第139期 自2023年4月8日 至2023年5月8日 第141期 自2023年6月8日 至2023年7月7日 第143期 自2023年8月8日 至2023年9月7日

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(A) 配当等収益	233,506,961円	205,879,920円	193,213,125円	199,850,498円	221,464,885円	207,338,625円
受取配当金	215,039,344	205,888,647	193,225,529	199,861,615	221,474,591	207,347,765
受取利息	29	2	12	18	2	12
その他収益金	18,471,589	—	—	—	—	—
支払利息	△ 4,001	△ 8,729	△ 12,416	△ 11,135	△ 9,708	△ 9,152
(B) 有価証券売買損益	△ 717,521,973	258,649,699	659,608,540	626,953,382	594,198,716	20,180,881
売買益	8,595,732	261,601,455	660,344,495	634,804,109	598,276,294	20,031,250
売買損	△ 726,117,705	△ 2,951,756	△ 735,955	△ 7,850,727	△ 4,077,578	149,631
(C) 信託報酬等	△ 15,887,144	△ 16,089,986	△ 15,565,528	△ 16,365,819	△ 17,156,486	△ 17,350,707
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 499,902,156	448,439,633	837,256,137	810,438,061	798,507,115	210,168,799
(E) 前期繰越損益金	△ 26,189,239,581	△ 26,610,170,733	△ 25,380,400,206	△ 24,250,677,922	△ 23,180,171,322	△ 22,271,925,146
(F) 追加信託差損益金	△ 26,356,897,258	△ 26,238,166,423	△ 25,416,692,704	△ 25,074,212,101	△ 24,740,521,914	△ 24,554,542,145
(配当等相当額)	(6,866,818,514)	(6,826,061,943)	(6,602,720,773)	(6,504,463,947)	(6,410,301,437)	(6,355,385,784)
(売買損益相当額)	(△ 33,223,715,772)	(△ 33,064,228,366)	(△ 32,019,413,477)	(△ 31,578,676,048)	(△ 31,150,823,351)	(△ 30,909,927,929)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 53,046,038,995	△ 52,399,897,523	△ 49,959,836,773	△ 48,514,451,962	△ 47,122,186,121	△ 46,616,298,492
(H) 収益分配金	△ 133,633,245	△ 132,800,741	△ 128,413,322	△ 126,456,790	△ 124,584,762	△ 123,476,506
次期繰越損益金 (G + H)	△ 53,179,672,240	△ 52,532,698,264	△ 50,088,250,095	△ 48,640,908,752	△ 47,246,770,883	△ 46,739,774,998
追加信託差損益金	△ 26,356,897,258	△ 26,238,166,423	△ 25,416,692,704	△ 25,074,212,101	△ 24,740,521,914	△ 24,554,542,145
(配当等相当額)	(6,866,818,514)	(6,826,061,943)	(6,602,720,773)	(6,504,463,947)	(6,410,301,437)	(6,355,385,784)
(売買損益相当額)	(△ 33,223,715,772)	(△ 33,064,228,366)	(△ 32,019,413,477)	(△ 31,578,676,048)	(△ 31,150,823,351)	(△ 30,909,927,929)
分配準備積立金	1,187,863,108	1,244,395,885	1,262,406,993	1,310,309,281	1,381,040,575	1,434,712,270
繰越損益金	△ 28,010,638,090	△ 27,538,927,726	△ 25,933,964,384	△ 24,877,005,932	△ 23,887,289,544	△ 23,619,945,123

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(a) 経費控除後の配当等収益	217,619,814円	198,748,828円	189,685,960円	195,894,858円	216,806,882円	191,526,906円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	6,866,818,514	6,826,061,943	6,602,720,773	6,504,463,947	6,410,301,437	6,355,385,784
(d) 分配準備積立金	1,103,876,539	1,178,447,798	1,201,134,355	1,240,871,213	1,288,818,455	1,366,661,870
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	8,188,314,867	8,203,258,569	7,993,541,088	7,941,230,018	7,915,926,774	7,913,574,560
(f) 分配金	133,633,245	132,800,741	128,413,322	126,456,790	124,584,762	123,476,506
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	8,054,681,622	8,070,457,828	7,865,127,766	7,814,773,228	7,791,342,012	7,790,098,054
(h) 受益権総口数	66,816,622,736口	66,400,370,640口	64,206,661,438口	63,228,395,065口	62,292,381,126口	61,738,253,471口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
		20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500 指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
114期末 (2021年 4月 7日)	5,386	40	7.7	57,289	7.5	—	98.1	3,242
115期末 (2021年 5月 7日)	5,431	40	1.6	58,760	2.6	—	99.0	3,208
116期末 (2021年 6月 7日)	5,433	40	0.8	59,451	1.2	—	99.7	3,152
117期末 (2021年 7月 7日)	5,488	40	1.7	61,589	3.6	—	98.0	3,068
118期末 (2021年 8月10日)	5,520	40	1.3	62,836	2.0	—	98.1	3,033
119期末 (2021年 9月 7日)	5,555	40	1.4	64,020	1.9	—	99.0	2,978
120期末 (2021年10月 7日)	5,317	40	△ 3.6	62,548	△ 2.3	—	99.6	2,803
121期末 (2021年11月 8日)	5,565	40	5.4	68,722	9.9	—	99.5	2,911
122期末 (2021年12月 7日)	5,485	40	△ 0.7	67,172	△ 2.3	—	98.8	2,738
123期末 (2022年 1月 7日)	5,872	40	7.8	70,252	4.6	—	98.7	2,846
124期末 (2022年 2月 7日)	5,697	40	△ 2.3	66,951	△ 4.7	—	97.5	2,701
125期末 (2022年 3月 7日)	5,686	40	0.5	64,330	△ 3.9	—	98.6	2,558
126期末 (2022年 4月 7日)	6,243	40	10.5	71,657	11.4	—	98.7	2,761
127期末 (2022年 5月 9日)	6,384	40	2.9	69,777	△ 2.6	—	99.4	2,737
128期末 (2022年 6月 7日)	6,415	40	1.1	70,615	1.2	—	97.6	2,735
129期末 (2022年 7月 7日)	5,811	40	△ 8.8	67,758	△ 4.0	—	97.5	2,467
130期末 (2022年 8月 8日)	6,146	40	6.5	72,809	7.5	—	99.7	2,557
131期末 (2022年 9月 7日)	6,269	40	2.7	72,683	△ 0.2	—	98.2	2,605
132期末 (2022年10月 7日)	6,375	40	2.3	70,593	△ 2.9	—	97.8	2,612
133期末 (2022年11月 7日)	6,661	40	5.1	72,170	2.2	—	99.5	2,704
134期末 (2022年12月 7日)	6,441	40	△ 2.7	70,543	△ 2.3	—	98.8	2,587
135期末 (2023年 1月10日)	6,367	40	△ 0.5	66,968	△ 5.1	—	99.6	2,541
136期末 (2023年 2月 7日)	6,571	40	3.8	71,164	6.3	—	98.2	2,617
137期末 (2023年 3月 7日)	6,670	40	2.1	72,052	1.2	—	99.1	2,651
138期末 (2023年 4月 7日)	6,214	40	△ 6.2	70,809	△ 1.7	—	97.4	2,466
139期末 (2023年 5月 8日)	6,344	40	2.7	73,204	3.4	—	99.4	2,519
140期末 (2023年 6月 7日)	6,504	40	3.2	78,374	7.1	—	99.2	2,503
141期末 (2023年 7月 7日)	6,806	40	5.3	83,468	6.5	—	99.6	2,594
142期末 (2023年 8月 7日)	7,041	40	4.0	83,335	△ 0.2	—	98.3	2,675
143期末 (2023年 9月 7日)	7,255	40	3.6	86,870	4.2	—	95.1	2,730

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

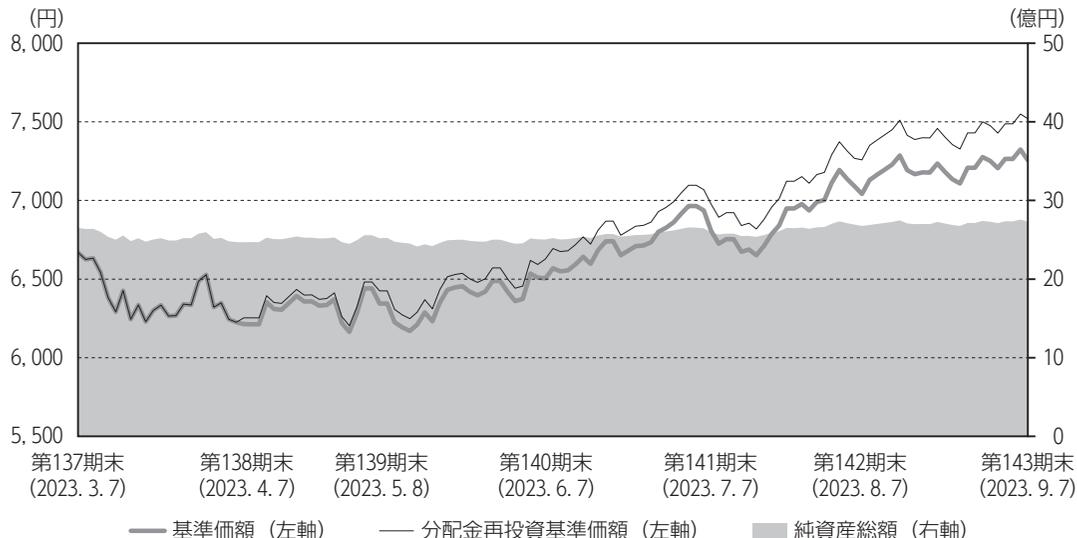
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数を「S & P 500指数 (配当込み、円換算)」から「S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第138期首：6,670円

第143期末：7,255円 (既払分配金240円)

騰落率：12.7% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

投資した「クローキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クローキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」については、米国株式市場の上昇や米ドルが対円で上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。また、オプション取引戦略もプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)：オージェンタム・トラスト
クローキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
第138期	(期首) 2023年 3月 7日	円 6,670	% —	72,052	% —	% —	% 99.1
	3月末	6,528	△ 2.1	70,779	△ 1.8	—	99.2
	(期末) 2023年 4月 7日	6,254	△ 6.2	70,809	△ 1.7	—	97.4
第139期	(期首) 2023年 4月 7日	6,214	—	70,809	—	—	97.4
	4月末	6,285	1.1	72,626	2.6	—	98.7
	(期末) 2023年 5月 8日	6,384	2.7	73,204	3.4	—	99.4
第140期	(期首) 2023年 5月 8日	6,344	—	73,204	—	—	99.4
	5月末	6,417	1.2	77,058	5.3	—	98.4
	(期末) 2023年 6月 7日	6,544	3.2	78,374	7.1	—	99.2
第141期	(期首) 2023年 6月 7日	6,504	—	78,374	—	—	99.2
	6月末	6,861	5.5	83,649	6.7	—	98.9
	(期末) 2023年 7月 7日	6,846	5.3	83,468	6.5	—	99.6
第142期	(期首) 2023年 7月 7日	6,806	—	83,468	—	—	99.6
	7月末	7,003	2.9	84,824	1.6	—	97.7
	(期末) 2023年 8月 7日	7,081	4.0	83,335	△ 0.2	—	98.3
第143期	(期首) 2023年 8月 7日	7,041	—	83,335	—	—	98.3
	8月末	7,252	3.0	86,776	4.1	—	99.4
	(期末) 2023年 9月 7日	7,295	3.6	86,870	4.2	—	95.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 3. 8 ～ 2023. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。2023年4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやF R B高官発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感されて反発し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻に伴う信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、下落（円高）しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調に転じました。2023年6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。その後は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落する場面もありましたが、再度米国金利が上昇基調となると、円は弱含む展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 3. 8 ~ 2023. 9. 7)

■ 当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」への投資割合を高位に維持しました。

■ クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

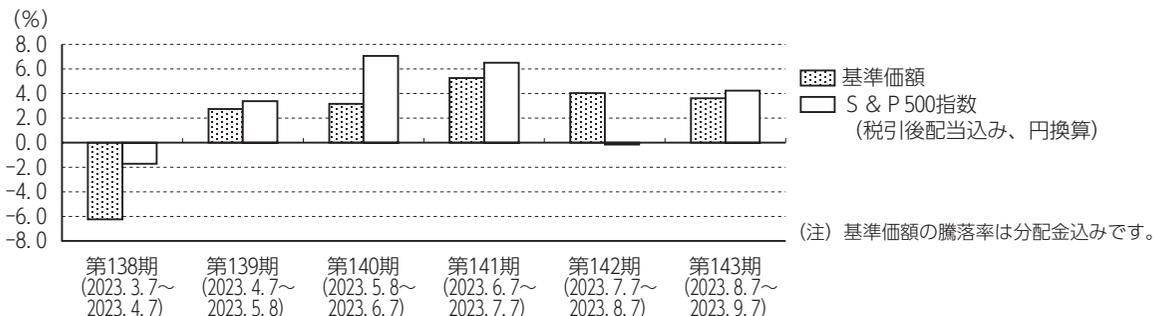
■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2023年3月8日 ～2023年4月7日	2023年4月8日 ～2023年5月8日	2023年5月9日 ～2023年6月7日	2023年6月8日 ～2023年7月7日	2023年7月8日 ～2023年8月7日	2023年8月8日 ～2023年9月7日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.64	0.63	0.61	0.58	0.56	0.55
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	946	957	969	994	1,228	1,442

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 57.10円	✓ 51.42円	✓ 51.64円	✓ 56.87円	✓ 55.05円	✓ 58.29円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	8.19	219.40	195.60
(c) 収益調整金	735.29	735.82	736.42	737.13	737.69	739.58
(d) 分配準備積立金	193.87	210.45	221.31	232.24	256.78	489.46
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	986.27	997.70	1,009.38	1,034.46	1,268.93	1,482.95
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	946.27	957.70	969.38	994.46	1,228.93	1,442.95

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第138期～第143期 (2023. 3. 8～2023. 9. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	45円	0.676%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,651円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.442)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	45	0.680	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

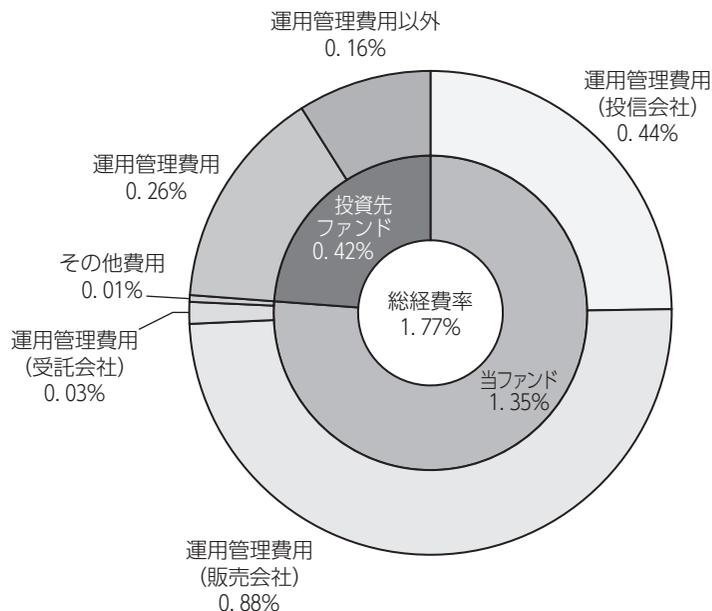
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

決算期	第 138 期 ～ 第 143 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,370.73334	195,236	2,887.95034	419,300

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

第 138 期 ～ 第 143 期								
買 付				売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	442.70413	62,400	140	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	2,887.95034	419,300	145	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 143 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	16,510.77634	2,596,451	95.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第137期末	第 143 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	12	12	12

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年9月7日現在

項 目	第 143 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,596,451	94.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	0.0
コール・ローン等、その他	152,528	5.5
投資信託財産総額	2,748,992	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月7日)、(2023年5月8日)、(2023年6月7日)、(2023年7月7日)、(2023年8月7日)、(2023年9月7日)現在

項目	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末
(A) 資産	2,488,956,016円	2,537,969,615円	2,523,705,216円	2,615,371,122円	2,694,634,419円	2,815,992,852円
コール・ローン等	85,550,189	32,887,641	38,964,197	30,768,741	63,433,978	85,528,198
投資信託受益証券 (評価額)	2,402,092,325	2,503,768,472	2,484,728,028	2,584,589,390	2,631,187,452	2,596,451,666
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	12,992	12,992	12,991	12,991	12,989	12,989
未収入金	—	—	—	—	—	133,999,999
その他未収収益	1,300,510	1,300,510	—	—	—	—
(B) 負債	22,301,386	18,787,575	20,025,704	20,875,214	18,925,749	85,292,015
未払金	—	—	—	—	—	67,000,000
未払収益分配金	15,878,585	15,883,601	15,398,556	15,248,342	15,201,802	15,056,183
未払解約金	3,507,929	64	1,841,166	2,723,100	646,068	36,435
未払信託報酬	2,897,153	2,868,640	2,733,989	2,834,439	2,990,254	3,092,849
その他未払費用	17,719	35,270	51,993	69,333	87,625	106,548
(C) 純資産総額 (A - B)	2,466,654,630	2,519,182,040	2,503,679,512	2,594,495,908	2,675,708,670	2,730,700,837
元本	3,969,646,260	3,970,900,309	3,849,639,166	3,812,085,518	3,800,450,673	3,764,045,984
次期繰越損益金	△ 1,502,991,630	△ 1,451,718,269	△ 1,345,959,654	△ 1,217,589,610	△ 1,124,742,003	△ 1,033,345,147
(D) 受益権総口数	3,969,646,260口	3,970,900,309口	3,849,639,166口	3,812,085,518口	3,800,450,673口	3,764,045,984口
1万口当り基準価額 (C/D)	6,214円	6,344円	6,504円	6,806円	7,041円	7,255円

* 当作成期首における元本額は3,975,905,633円、当作成期間 (第138期～第143期) 中における追加設定元本額は62,007,934円、同解約元本額は273,867,583円です。

* 第143期末の計算口数当りの純資産額は7,255円です。

* 第143期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,033,345,147円です。

■損益の状況

第138期 自 2023年3月8日 至 2023年4月7日 第140期 自 2023年5月9日 至 2023年6月7日 第142期 自 2023年7月8日 至 2023年8月7日
 第139期 自 2023年4月8日 至 2023年5月8日 第141期 自 2023年6月8日 至 2023年7月7日 第143期 自 2023年8月8日 至 2023年9月7日

項目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(A) 配当等収益	25,582,023円	21,293,414円	20,591,564円	22,156,650円	21,526,378円	22,655,586円
受取配当金	24,283,443	21,294,394	20,593,562	22,158,483	21,527,987	22,656,965
受取利息	2	—	5	—	—	1
その他収益金	1,298,875	—	—	—	—	—
支払利息	△ 297	△ 980	△ 2,003	△ 1,833	△ 1,609	△ 1,380
(B) 有価証券売買損益	△ 187,785,102	49,190,085	58,960,559	111,148,668	85,788,074	76,025,640
売買益	308,373	49,260,849	61,277,516	111,374,063	85,855,236	76,079,783
売買損	△ 188,093,475	△ 70,764	△ 2,316,957	△ 225,395	△ 67,162	△ 54,143
(C) 信託報酬等	△ 2,914,872	△ 2,886,191	△ 2,750,712	△ 2,851,779	△ 3,008,546	△ 3,111,772
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 165,117,951	67,597,308	76,801,411	130,453,539	104,305,906	95,569,454
(E) 前期繰越損益金	47,571,827	△ 133,136,799	△ 78,734,211	△ 17,110,343	97,590,148	184,235,786
(F) 追加信託差損益金	△ 1,369,566,921	△ 1,370,295,177	△ 1,328,628,298	△ 1,315,684,464	△ 1,311,436,255	△ 1,298,094,204
(配当等相当額)	(291,886,672)	(292,188,014)	(283,498,067)	(281,003,722)	(280,357,127)	(278,384,898)
(売買損益相当額)	(△ 1,661,453,593)	(△ 1,662,483,191)	(△ 1,612,126,365)	(△ 1,596,688,186)	(△ 1,591,793,382)	(△ 1,576,479,102)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,487,113,045	△ 1,435,834,668	△ 1,330,561,098	△ 1,202,341,268	△ 1,109,540,201	△ 1,018,288,964
(H) 収益分配金	△ 15,878,585	△ 15,883,601	△ 15,398,556	△ 15,248,342	△ 15,201,802	△ 15,056,183
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,502,991,630	△ 1,451,718,269	△ 1,345,959,654	△ 1,217,589,610	△ 1,124,742,003	△ 1,033,345,147
追加信託差損益金	△ 1,369,566,921	△ 1,370,295,177	△ 1,328,628,298	△ 1,315,684,464	△ 1,311,436,255	△ 1,298,094,204
(配当等相当額)	(291,886,672)	(292,188,014)	(283,498,067)	(281,003,722)	(280,357,127)	(278,384,898)
(売買損益相当額)	(△ 1,661,453,593)	(△ 1,662,483,191)	(△ 1,612,126,365)	(△ 1,596,688,186)	(△ 1,591,793,382)	(△ 1,576,479,102)
分配準備積立金	83,750,542	88,107,715	89,679,207	98,094,854	186,694,252	264,749,057
繰越損益金	△ 217,175,251	△ 169,530,807	△ 107,010,563	—	—	—

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,667,151円	20,421,496円	19,879,680円	21,682,684円	20,922,864円	21,941,123円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	3,124,903	83,383,042	73,628,331
(c) 収益調整金	291,886,672	292,188,014	283,498,067	281,003,722	280,357,127	278,384,898
(d) 分配準備積立金	76,961,976	83,569,820	85,198,083	88,535,609	97,590,148	184,235,786
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	391,515,799	396,179,330	388,575,830	394,346,918	482,253,181	558,190,138
(f) 分配金	15,878,585	15,883,601	15,398,556	15,248,342	15,201,802	15,056,183
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	375,637,214	380,295,729	373,177,274	379,098,576	467,051,379	543,133,955
(h) 受益権総口数	3,969,646,260口	3,970,900,309口	3,849,639,166口	3,812,085,518口	3,800,450,673口	3,764,045,984口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
		40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%	(参考指数)	%	%	%	百万円
94期末(2021年4月7日)	2,732	30	6.1	27,494	6.1	—	98.0	158
95期末(2021年5月7日)	2,776	30	2.7	28,374	3.2	—	98.1	160
96期末(2021年6月7日)	2,792	30	1.7	28,597	0.8	—	98.0	159
97期末(2021年7月7日)	2,790	30	1.0	29,387	2.8	—	98.5	160
98期末(2021年8月10日)	2,823	30	2.3	30,009	2.1	—	98.0	158
99期末(2021年9月7日)	2,890	30	3.4	30,736	2.4	—	98.0	159
100期末(2021年10月7日)	2,703	30	△ 5.4	29,593	△ 3.7	—	99.0	149
101期末(2021年11月8日)	2,770	30	3.6	31,878	7.7	—	99.1	151
102期末(2021年12月7日)	2,472	30	△ 9.7	31,192	△ 2.2	—	99.1	138
103期末(2022年1月7日)	2,669	30	9.2	31,925	2.3	—	99.2	145
104期末(2022年2月7日)	2,608	30	△ 1.2	30,615	△ 4.1	—	99.4	123
105期末(2022年3月7日)	2,549	30	△ 1.1	29,478	△ 3.7	—	97.5	121
106期末(2022年4月7日)	2,903	30	15.1	30,541	3.6	—	99.7	125
107期末(2022年5月9日)	2,816	30	△ 2.0	28,121	△ 7.9	—	98.5	122
108期末(2022年6月7日)	2,861	30	2.7	28,144	0.1	—	97.5	123
109期末(2022年7月7日)	2,427	30	△ 14.1	26,282	△ 6.6	—	99.2	104
110期末(2022年8月8日)	2,622	30	9.3	28,354	7.9	—	99.2	110
111期末(2022年9月7日)	2,646	30	2.1	26,766	△ 5.6	—	98.5	112
112期末(2022年10月7日)	2,664	30	1.8	25,674	△ 4.1	—	99.6	113
113期末(2022年11月7日)	2,860	30	8.5	25,869	0.8	—	97.5	122
114期末(2022年12月7日)	2,803	30	△ 0.9	27,077	4.7	—	97.0	119
115期末(2023年1月10日)	2,813	30	1.4	26,769	△ 1.1	—	99.1	121
116期末(2023年2月7日)	2,924	30	5.0	28,290	5.7	—	99.3	130
117期末(2023年3月7日)	3,033	30	4.8	27,896	△ 1.4	—	98.5	138
118期末(2023年4月7日)	2,845	30	△ 5.2	28,320	1.5	—	98.9	126
119期末(2023年5月8日)	2,923	30	3.8	28,550	0.8	—	99.1	131
120期末(2023年6月7日)	3,074	30	6.2	29,609	3.7	—	98.5	137
121期末(2023年7月7日)	3,129	30	2.8	30,518	3.1	—	98.9	142
122期末(2023年8月7日)	3,226	30	4.1	30,997	1.6	—	97.6	144
123期末(2023年9月7日)	3,293	30	3.0	30,948	△ 0.2	—	99.3	148

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

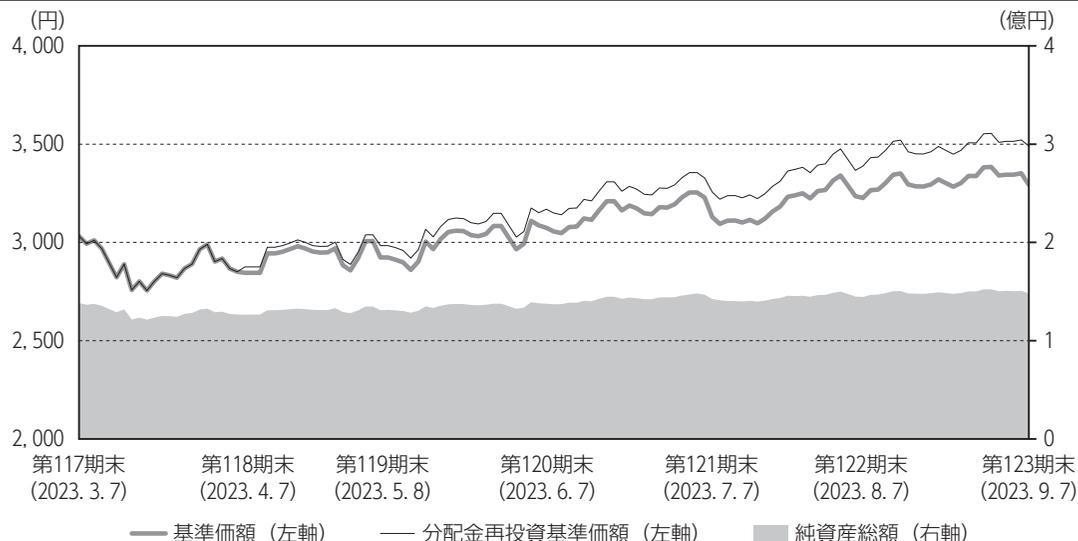
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数を「S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)」から「S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第118期首：3,033円

第123期末：3,293円（既払分配金180円）

騰落率：15.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

投資した「クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」については、米国株式市場の上昇や選定通貨が対円でおおむね上昇（円安）したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。また、オプション取引戦略もプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラスト
 トクローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第118期	(期首) 2023年 3月 7日	3,033	—	27,896	—	—	98.5
	3月末	2,990	△ 1.4	27,937	0.1	—	97.9
	(期末) 2023年 4月 7日	2,875	△ 5.2	28,320	1.5	—	98.9
第119期	(期首) 2023年 4月 7日	2,845	—	28,320	—	—	98.9
	4月末	2,919	2.6	28,538	0.8	—	98.1
	(期末) 2023年 5月 8日	2,953	3.8	28,550	0.8	—	99.1
第120期	(期首) 2023年 5月 8日	2,923	—	28,550	—	—	99.1
	5月末	3,024	3.5	29,058	1.8	—	99.6
	(期末) 2023年 6月 7日	3,104	6.2	29,609	3.7	—	98.5
第121期	(期首) 2023年 6月 7日	3,074	—	29,609	—	—	98.5
	6月末	3,194	3.9	30,407	2.7	—	98.7
	(期末) 2023年 7月 7日	3,159	2.8	30,518	3.1	—	98.9
第122期	(期首) 2023年 7月 7日	3,129	—	30,518	—	—	98.9
	7月末	3,267	4.4	31,714	3.9	—	99.1
	(期末) 2023年 8月 7日	3,256	4.1	30,997	1.6	—	97.6
第123期	(期首) 2023年 8月 7日	3,226	—	30,997	—	—	97.6
	8月末	3,384	4.9	31,283	0.9	—	98.4
	(期末) 2023年 9月 7日	3,323	3.0	30,948	△ 0.2	—	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 3. 8 ～ 2023. 9. 7）

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。2023年4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやF R B高官発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感されて反発し、当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね上昇しました。

当作成期における選定通貨の値動きは、米国の金融引き締めと長期化観測から米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大により円が売られ、円安傾向となったことなどから、メキシコ・ペソ、ブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、ハンガリー・フォリント、チェコ・コルナ、インド・ルピーは対円でおおむね上昇しました。一方で、トルコ・リラ、チリ・ペソは対円でおおむね下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■ 短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるF Fレート（フェデラル・ファンズ・レート）の誘導目標が5.25～5.50%に引き上げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼンダ・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 3. 8 ~ 2023. 9. 7)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益（利息収入）が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

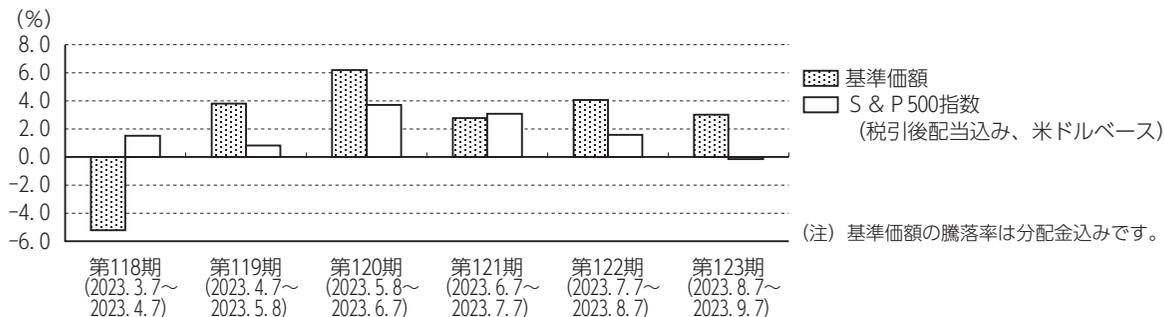
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
	2023年3月8日 ～2023年4月7日	2023年4月8日 ～2023年5月8日	2023年5月9日 ～2023年6月7日	2023年6月8日 ～2023年7月7日	2023年7月8日 ～2023年8月7日	2023年8月8日 ～2023年9月7日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	1.04	1.02	0.97	0.95	0.92	0.90
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	627	638	647	659	683	696

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.53円	✓ 40.06円	✓ 39.07円	✓ 42.04円	✓ 53.85円	✓ 42.61円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	416.68	418.99	420.14	426.57	427.35	428.94
(d) 分配準備積立金	203.49	209.00	218.00	221.18	232.49	254.84
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	657.70	668.05	677.22	689.80	713.70	726.41
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	627.70	638.05	647.22	659.80	683.70	696.41

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第118期～第123期 (2023. 3. 8～2023. 9. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	21円	0.674%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,083円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.441)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	21	0.677	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

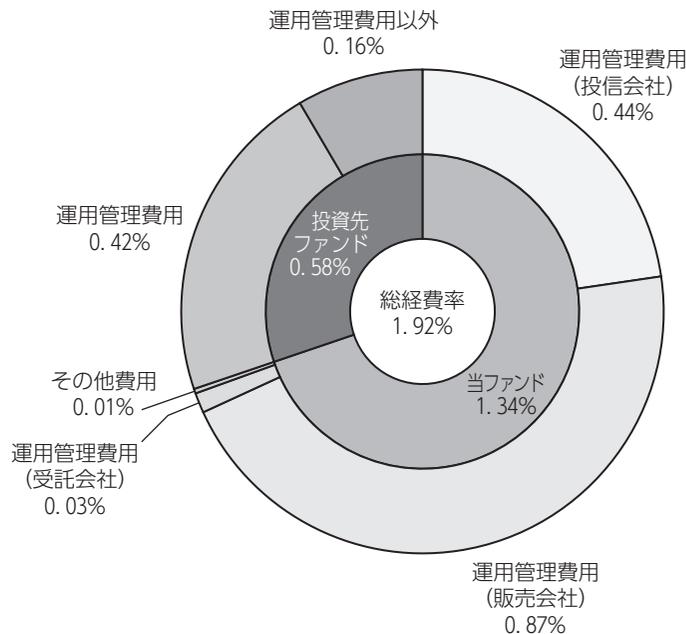
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.92%
①当ファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.42%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

決算期	第 118 期 ~ 第 123 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	628.20132	19,253	556.99011	17,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

第 118 期 ~ 第 123 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	237.65449	7,300	30	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	556.99011	17,000	30

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 123 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	4,496.09039	147,076	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第117期末	第 123 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	9	9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年9月7日現在

項 目	第 123 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	147,076	98.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	2,851	1.9
投資信託財産総額	149,937	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月7日)、(2023年5月8日)、(2023年6月7日)、(2023年7月7日)、(2023年8月7日)、(2023年9月7日)現在

項目	第118期末	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末
(A) 資産	127,825,049円	132,506,957円	140,489,251円	143,894,588円	146,315,407円	149,937,389円
コール・ローン等	2,901,464	2,636,663	5,056,092	3,095,376	5,195,102	2,851,474
投資信託受益証券 (評価額)	124,913,776	129,860,485	135,423,351	140,789,404	141,110,498	147,076,108
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	9,809	9,809	9,808	9,808	9,807	9,807
(B) 負債	1,482,790	1,496,055	2,947,960	1,525,656	1,759,692	1,825,598
未払金	—	—	1,400,000	—	—	—
未払収益分配金	1,332,057	1,344,551	1,342,234	1,364,801	1,344,461	1,349,150
未払解約金	2,903	—	54,622	—	246,710	300,783
未払信託報酬	146,947	149,721	148,429	157,230	163,910	170,030
その他未払費用	883	1,783	2,675	3,625	4,611	5,635
(C) 純資産総額 (A - B)	126,342,259	131,010,902	137,541,291	142,368,932	144,555,715	148,111,791
元本	444,019,141	448,183,965	447,411,530	454,933,735	448,153,816	449,716,868
次期繰越損益金	△ 317,676,882	△ 317,173,063	△ 309,870,239	△ 312,564,803	△ 303,598,101	△ 301,605,077
(D) 受益権総口数	444,019,141口	448,183,965口	447,411,530口	454,933,735口	448,153,816口	449,716,868口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,845円	2,923円	3,074円	3,129円	3,226円	3,293円

* 当作成期首における元本額は456,089,485円、当作成期間 (第118期～第123期) 中における追加設定元本額は27,302,130円、同解約元本額は33,674,747円です。

* 第123期末の計算口数当りの純資産額は3,293円です。

* 第123期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は301,605,077円です。

■損益の状況

第118期 自2023年3月8日至2023年4月7日 第120期 自2023年5月9日至2023年6月7日 第122期 自2023年7月8日至2023年8月7日

第119期 自2023年4月8日至2023年5月8日 第121期 自2023年6月8日至2023年7月7日 第123期 自2023年8月8日至2023年9月7日

項目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
(A) 配当等収益	1,814,551円	1,851,854円	1,780,615円	1,992,532円	2,483,856円	1,991,433円
受取配当金	1,814,573	1,851,913	1,780,666	1,992,690	2,483,945	1,991,549
支払利息	△ 22	△ 59	△ 51	△ 158	△ 89	△ 116
(B) 有価証券売買損益	△ 8,588,300	3,094,190	6,453,735	1,957,972	3,328,884	2,563,548
売買益	223,085	3,094,773	6,472,266	1,965,872	3,376,687	2,570,075
売買損	△ 8,811,385	△ 583	△ 18,531	△ 7,900	△ 47,803	△ 6,527
(C) 信託報酬等	△ 147,830	△ 150,621	△ 149,321	△ 158,180	△ 164,896	△ 171,054
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 6,921,579	4,795,423	8,085,029	3,792,324	5,647,844	4,383,927
(E) 前期繰越損益金	△ 40,332,941	△ 48,572,237	△ 44,824,921	△ 37,717,242	△ 34,654,689	△ 30,278,615
(F) 追加信託差損益金	△ 269,090,305	△ 272,051,698	△ 271,788,113	△ 277,275,084	△ 273,246,795	△ 274,361,239
(配当等相当額)	(18,501,390)	(18,778,568)	(18,797,654)	(19,406,456)	(19,152,144)	(19,290,368)
(売買損益相当額)	(△ 287,591,695)	(△ 290,830,266)	(△ 290,585,767)	(△ 296,681,540)	(△ 292,398,939)	(△ 293,651,607)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 316,344,825	△ 315,828,512	△ 308,528,005	△ 311,200,002	△ 302,253,640	△ 300,255,927
(H) 収益分配金	△ 1,332,057	△ 1,344,551	△ 1,342,234	△ 1,364,801	△ 1,344,461	△ 1,349,150
次期繰越損益金 (G + H)	△ 317,676,882	△ 317,173,063	△ 309,870,239	△ 312,564,803	△ 303,598,101	△ 301,605,077
追加信託差損益金	△ 269,090,305	△ 272,051,698	△ 271,788,113	△ 277,275,084	△ 273,246,795	△ 274,361,239
(配当等相当額)	(18,501,390)	(18,778,568)	(18,797,654)	(19,406,456)	(19,152,144)	(19,290,368)
(売買損益相当額)	(△ 287,591,695)	(△ 290,830,266)	(△ 290,585,767)	(△ 296,681,540)	(△ 292,398,939)	(△ 293,651,607)
分配準備積立金	9,370,082	9,818,227	10,159,819	10,610,419	11,488,422	12,028,405
繰越損益金	△ 57,956,659	△ 54,939,592	△ 48,241,945	△ 45,900,138	△ 41,839,728	△ 39,272,243

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,666,721円	1,795,461円	1,748,332円	1,912,746円	2,413,396円	1,916,648円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	18,501,390	18,778,568	18,797,654	19,406,456	19,152,144	19,290,368
(d) 分配準備積立金	9,035,418	9,367,317	9,753,721	10,062,474	10,419,487	11,460,907
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	29,203,529	29,941,346	30,299,707	31,381,676	31,985,027	32,667,923
(f) 分配金	1,332,057	1,344,551	1,342,234	1,364,801	1,344,461	1,349,150
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	27,871,472	28,596,795	28,957,473	30,016,875	30,640,566	31,318,773
(h) 受益権総口数	444,019,141口	448,183,965口	447,411,530口	454,933,735口	448,153,816口	449,716,868口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

クロッキーUSストラテジー・ファンド
 (日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／
 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス)

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）／米ドル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス）」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

(日本円建て)

貸借対照表
 2023年2月28日

資産	
投資資産の評価額（簿価 ¥17,662,146,027）	¥ 17,653,211,892
現金および現金同等物	102,506,567
外国為替スワップ取引による評価益	1,308,463
資産合計	17,757,026,922
負債	
外国為替スワップ取引による評価損	366,624,603
未払：	
担保不足額	48,029,408
専門家報酬	37,694,665
運用会社報酬	2,318,437
管理会社報酬	241,971
受託会社報酬	109,148
名義書換代理人報酬	52,883
為替投資アドバイザー報酬	45,700
登録料	7,726
負債合計	455,124,541
純資産	¥ 17,301,902,381
豪ドル・クラス	¥ 798,523,279
ブラジル・リアル・クラス	13,612,824,848
日本円・クラス	289,430,213
通貨セレクト・クラス	126,520,384
米ドル・クラス	2,474,603,657
	¥ 17,301,902,381
発行済み受益証券	
豪ドル・クラス	10,479,928

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－

ブラジル・リアル・クラス	429,253,180
日本円・クラス	3,982,773
通貨セレクト・クラス	4,424,879
米ドル・クラス	18,027,993

受益証券1口当り純資産額

豪ドル・クラス	¥	76.195
ブラジル・リアル・クラス	¥	31.713
日本円・クラス	¥	72.671
通貨セレクト・クラス	¥	28.593
米ドル・クラス	¥	137.265

(日本円建て)

損益計算書

2023年2月28日に終了した年度

投資収益

受取利息	¥	2,369,370
その他の収益		459
投資収益合計		2,369,829

費用

担保不足費用	123,244,701
運用会社報酬	31,965,390
管理会社報酬	12,764,275
専門家報酬	8,079,425
受託会社報酬	1,976,531
名義書換代理人報酬	1,856,011
為替投資アドバイザー報酬	176,616
その他費用	179,023
費用合計	180,241,972

投資純損失	(177,872,143)
--------------	----------------------

実現損益および評価損益：

実現損益：

ストラクチャード商品への投資	3,833,165,362
外国為替スワップ取引	1,009,990,509
外国為替取引および外国為替先渡取引	61,842,327
純実現損益	4,904,998,198

評価損益の純変動：

ストラクチャード商品への投資	(234,652,423)
外国為替スワップ取引	(352,497,096)
外国為替換算	(4,568,162)
評価損益の純変動	(591,717,681)

純実現損益および評価損益の純変動	4,313,280,517
-------------------------	----------------------

運用による純資産の純増	¥ 4,135,408,374
--------------------	------------------------

(日本円建て)

投資明細表
2023年2月28日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に占める割合	評価額
Share Basket Swap Transaction* - トータル・リターン・スワップ	1,085,321	102.03%	¥ 17,653,211,892
ストラクチャード商品計 (簿価 ¥17,662,146,027)			17,653,211,892
投資資産計 (簿価 ¥17,662,146,027)		102.03%	¥ 17,653,211,892

*当ファンドは J.P. Morgan Securities plc. との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通じて Share Basket Swap Transaction と同様のエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
AUD	J.P. Morgan Securities plc	9,718,340	3/7/2023	USD	(6,553,562)	¥ (39,754,976)	(0.23)%

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
BRL	J.P. Morgan Securities plc	556,784,438	3/7/2023	USD	(106,649,381)	¥ (308,758,496)	(1.78)%

日本円・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
JPY	J.P. Morgan Securities plc	327,478,149	3/7/2023	USD	(2,404,127)	¥ (16,171,027)	(0.09)%

通貨セレクト・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
BRL	J.P. Morgan Securities plc	741,701	3/7/2023	USD	(142,069)	¥ (66,515)	(0.00)%
CLP	J.P. Morgan Securities plc	117,441,304	3/7/2023	USD	(141,097)	(693,441)	(0.00)%
COP	J.P. Morgan Securities plc	21,963,273	3/7/2023	USD	(4,536)	(699,656)	(0.00)%
HUF	J.P. Morgan Securities plc	61,878,906	3/7/2023	USD	(173,208)	404,066	0.00%
MXN	J.P. Morgan Securities plc	2,746,074	3/7/2023	USD	(149,854)	598,706	0.00%
PLN	J.P. Morgan Securities plc	634,693	3/7/2023	USD	(143,042)	(480,492)	(0.00)%
TRY	J.P. Morgan Securities plc	4,225,273	3/7/2023	USD	(223,808)	305,691	0.00%
合計						¥ (631,641)	(0.00)%

外国為替スワップ取引に係る評価益

¥ 1,308,463

外国為替スワップ取引に係る評価損

(366,624,603)

合計

¥ (365,316,140)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ-

用語集:

AUD	豪ドル
BRL	ブラジル・レアル
CLP	チリ・ペソ
COP	コロンビア・ペソ
HUF	ハンガリー・フォリント
JPY	日本・円
MXN	メキシコ・ペソ
PLN	ポーランド・ズロチ
TRY	トルコ・リラ
USD	米ドル

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2023年9月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2023年3月8日～2023年9月7日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年9月7日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

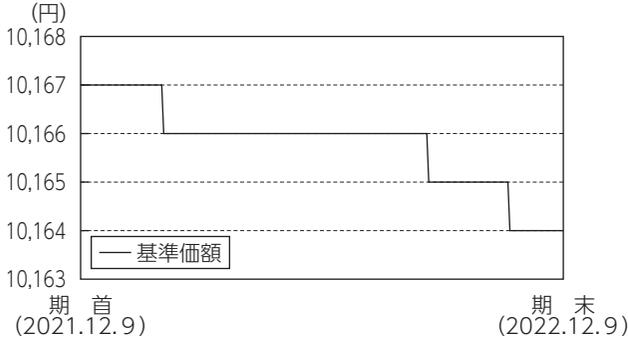
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
12月末	10,167	0.0	-
2022年1月末	10,167	0.0	-
2月末	10,166	△0.0	-
3月末	10,166	△0.0	-
4月末	10,166	△0.0	-
5月末	10,166	△0.0	-
6月末	10,166	△0.0	-
7月末	10,166	△0.0	-
8月末	10,165	△0.0	-
9月末	10,165	△0.0	-
10月末	10,164	△0.0	-
11月末	10,164	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,164	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,167円 期末：10,164円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	14,815,299	100.0
投資信託財産総額	14,815,299	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	14,815,299,248円
コール・ローン等	14,815,299,248
(B) 負債	113,000
未払解約金	113,000
(C) 純資産総額(A-B)	14,815,186,248
元本	14,576,480,402
次期繰越損益金	238,705,846
(D) 受益権総口数	14,576,480,402口
1万口当り基準価額(C/D)	10,164円

* 期首における元本額は6,671,046,264円、当作成期間中における追加設定元本額は21,845,860,602円、同解約元本額は13,940,426,464円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	3,627,565,740円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・パリュウ (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・パリュウ (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ/RICI SM コモディティ・ファンド	2,074,249円
スマート・ミックス・Dガード (為替ヘッジあり)	5,973,809円
スマート・アロケーション・Dガード	23,929,224円
堅実バランスファンド -ハジメの一歩-	236,205,446円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	5,509,329,948円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	595,238,099円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	309,917,358円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,031,730,013円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト-	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・パリュウ株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・ダグバル・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり)	104,785,071円
ダイワ6資産バランス・ファンド (Dガード付/為替ヘッジあり)	112,805,921円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
DCスマート・アロケーション・Dガード	8,073,994円

ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,164円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,985,061円
受取利息	2,618
支払利息	△ 3,987,679
(B) 当期損益金(A)	△ 3,985,061
(C) 前期繰越損益金	111,255,021
(D) 解約差損益金	△230,350,932
(E) 追加信託差損益金	361,786,818
(F) 合計(B+C+D+E)	238,705,846
次期繰越損益金(F)	238,705,846

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。